

平成 25 年 3 月期 第 3 四半期連結決算概要

1. 連結決算実績 (24 年 4 月～24 年 12 月)

(1) 全体概要 (24 年 12 月末現在連結会社数：連結子会社 64 社、持分法適用関連会社 5 社) (単位：百万 m<sup>3</sup>、億円、円)

	当四半期	前年同期	増 減	増減率(%)	(参考)個別決算
ガ ス 販 売 量	10,825	10,383	442	4.3	9,968
売 上 高	13,354	11,699	1,655	14.1	11,874
営 業 利 益	990	69	921	—	675
経 常 利 益	1,017	52	965	—	799
四 半 期 純 利 益	640	△ 10	650	—	524
1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益	24.89	△ 0.41	25.30	—	20.39
1 株 当 たり 純 資 産	339.64	324.67	14.97	4.6	278.18

(注) 1株当たり純資産は24年3月期末との比較

<当四半期決算のポイント(対前年同期)>増収は3期連続、増益は2期ぶり。

ガス販売量、売上高、各利益とも歴代1位(これまでの過去最高はガス販売量H22、売上高H23、各利益H18)。

- ① ガス販売量は、発電用ガスの一部をトーリング契約(※)へ変更したことによる減少があったものの、千葉～鹿島ライン開通に伴う新規需要や発電用需要の増加、及び冬場の低気温による給湯・暖房需要の増加等により、4.3%増加しました。売上高は、ガス販売量の増加、及び原油価格上昇に伴う原料費調整による売上単価増(774億円)等により、都市ガス売上高が1,095億円増の9,688億円となったことに加え、電力需給逼迫時対応による電力販売の増加等その他エネルギー売上高が306億円増加したこと等から、14.1%増の1兆3,354億円となりました。
- ② 営業費用は、ガス原材料費が販売量の増加及び原油高の影響により440億円増加したこと、及び電力販売の増加に伴う燃料費の増加等その他エネルギーに関わる費用が156億円増加したこと等から、6.3%増の1兆2,364億円となりました。この結果、営業利益は921億円増の990億円となり、これに営業外損益を加減算し、経常利益は965億円増の1,017億円となりました。
- ③ これに加え、特別利益として39億円(関係会社株式売却益29億円他)、特別損失として39億円(投資有価証券評価損33億円他)[前年同期は特別利益はなし、特別損失57億円(投資有価証券評価損)]を計上し、法人税等を計上した結果、四半期純利益は640億円となりました(前年同期は10億円の純損失)。

(2) ガス販売量(販売量は45MJ/m<sup>3</sup>表記)

		当四半期	前年同期	増 減	増減率(%)	
お 客 さ ま 件 数		千件	10,933	10,809	124	1.2
ガ ス 販 売 量	家 庭 用	百万m <sup>3</sup>	2,144	2,074	70	3.4
	業 務 用	百万m <sup>3</sup>	2,021	1,950	71	3.6
	工 業 用	百万m <sup>3</sup>	5,232	4,960	272	5.5
	計	百万m <sup>3</sup>	7,252	6,910	342	5.0
	他事業者向供給	百万m <sup>3</sup>	1,430	1,399	31	2.2
	合 計	百万m <sup>3</sup>	10,825	10,383	442	4.3
平均気温		℃	19.6	19.7	△ 0.1	—

- ① 家庭用需要は、冬場の低気温による給湯・暖房需要の増加及びお客さま件数の増加等により、3.4%増加しました。
- ② 業務用需要は、震災後の落ち込みからの回復及び冬場の低気温による暖房需要の増加等により、3.6%増加しました。
- ③ 工業用需要は、発電用ガスの一部をトーリング契約(※)へ変更したことによる減少があったものの、千葉～鹿島ライン開通に伴う新規需要や発電用需要の増加等により、5.5%増加しました。
- ④ 他事業者向供給は、供給先事業者の需要増等により2.2%増加しました。

(※)トーリング契約：電力販売者が発電に必要な燃料ガスを調達して発電事業者に渡し、発電事業者はそれを受託発電し電力販売者に引渡して受託発電料を得る契約

(3) 収支概要(都市ガス以外の内訳は「(4)部門別の概況」参照。全社費用は各事業に配賦不能の営業費用) (単位：億円)

収 益		増 減	増減率(%)	費 用		増 減	増減率(%)
都 市 ガ ス	9,688	1,095	12.7	都 市 ガ ス	5,853	440	8.1
	13,354			そ の 他	2,901	△ 47	△ 1.6
				計	8,755	393	4.7
都 市 ガ ス 以 外	5,460	659	13.7	都 市 ガ ス 以 外	5,076	429	9.2
事 業 間 内 部 消 去	△ 1,794	△ 99	—	全 社 費 用	342	5	1.4
売 上 高	13,354	1,655	14.1	事 業 間 内 部 消 去	△ 1,809	△ 92	—
営 業 外 収 益	142	29	25.4	営 業 費 用	12,364	735	6.3
				営 業 利 益	990	921	—
				営 業 外 費 用	115	△ 16	△ 12.3
				経 常 利 益	1,017	965	—
特 別 利 益	39	39	—	特 別 損 失	39	△ 18	△ 30.8
				四 半 期 純 利 益	640	650	—

(4) 部門別の概況 (単位：億円)

	売 上 高				セグメント利益				
	当四半期	前年同期	増 減	増減率(%)	当四半期	前年同期	増 減	増減率(%)	
都 市 ガ ス	9,688	8,593	1,095	12.7	933	230	703	304.0	
都 市 ガ ス 以 外	器具及びガス工事	1,472	1,292	180	13.9	33	18	15	79.3
	その他エネルギー(うち電力)	2,406	2,100	306	14.6	207	57	150	262.7
	不 動 産	226	222	4	1.8	48	36	12	32.1
	そ の 他	1,354	1,186	168	14.2	94	41	53	127.3
都 市 ガ ス 以 外	5,460	4,801	659	13.7	384	154	230	149.3	

(注) 売上高には事業間の内部取引を含んでおり、セグメント利益の算出には配賦不能営業費用を含んでいません。

(5) 主要計数

	当四半期	前年同期	増 減	増減率(%)
為 替 レ ー ト (円/\$)	79.95	78.98	0.97	1.2
原 油 価 格 (\$/bbl)	113.98	113.12	0.86	0.8
設 備 投 資 (億円)	1,179	897	282	31.4
有 利 子 負 債 (億円)	6,387	6,258	129	2.1
そ の 他 有 価 証 券 評 価 益 (億円)	236	216	20	9.1
営 業 キ ャ ッ シ ュ ・ フ ロ ー (億円)	1,661	1,084	577	53.1
R O A (%)	3.4	—	—	—
R O E (%)	7.5	—	—	—

(注1) 営業キャッシュ・フロー＝四半期純利益＋減価償却費等

(注2) 有利子負債、その他有価証券評価益は24年3月期末との比較

2. 通期(25年3月期)の業績予想

業績予想のポイント	
○	業績予想は連結・個別ともに対前期「増収増益」の見通し。 (以下は、対前回(10/30発表時)業績予想)
○	ガス販売量は、発電用等工業用需要の増加、及び冬場の低気温による給湯・暖房需要の増加等により1.8%増加の見通し。
○	連結業績予想は個別及び連結子会社の業績予想の見直しに伴い、売上高は2.3%増加、経常利益は6.5%減少の見通し。
○	個別業績予想は、ガス販売量の増加等により売上高は2.3%増加するものの、急激な円安の進行等から、原材料費が6.0%増加することによりガス粗利益が悪化し、経常利益は11.0%減少の見通し。
○	経済フレームは、1月以降為替レート90円/\$、原油価格110\$/bblと想定。

(単位：百万m<sup>3</sup>、億円)

	連結決算					(参考)個別決算				
	通期業績予想	対前期		対前回(10/30発表時)		通期業績予想	対前期		対前回(10/30発表時)	
	増減	増減率(%)	増減	増減率(%)	増減	増減率(%)	増減	増減率(%)	増減	増減率(%)
ガ ス 販 売 量	15,400	210	1.4	265	1.8	14,224	465	3.4	253	1.8
売 上 高	19,340	1,798	10.2	440	2.3	17,080	1,577	10.2	380	2.3
都 市 ガ ス	14,009	947	7.2	348	2.5	13,190	1,025	8.4	330	2.6
都 市 ガ ス 以 外	5,331	852	19.0	92	1.8	3,890	552	16.5	50	1.3
営 業 利 益	1,420	650	84.2	△ 100	△ 6.6	1,020	506	98.4	△ 140	△ 12.1
経 常 利 益	1,440	684	90.4	△ 100	△ 6.5	1,130	531	88.5	△ 140	△ 11.0
当 期 純 利 益	930	470	101.9	△ 60	△ 6.1	750	393	110.1	△ 90	△ 10.7

(注) 事業間の内部取引高は都市ガス以外の欄で調整しています。

<前提となる経済フレーム>

	今回通期見通し	対前期		対前回(10/30発表時)	
		増減	増減率(%)	増減	増減率(%)
為替レート(円/\$)	82.46	3.38	4.3	2.75	3.5
原油価格(\$/bbl)	112.99	△ 1.18	△ 1.0	1.00	0.9

(注1) 為替レート：前期実績79.08円/\$、前回見通し79.71円/\$ 為替+1円/\$の4Qへの収支影響：△17億円(売上高6億円、原料費23億円)

(注2) 原油価格：前期実績114.17\$/bbl、前回見通し111.99\$/bbl 原油+1\$/bblの4Qへの収支影響：△3億円(売上高1億円、原料費4億円)